



調査概要

1. 調査期間 2026年9月7日(月)～2026年9月25日(金)
2. 調査対象 札幌商工会議所定期景気調査 登録企業765社
3. 回答状況 298社（回答率39%）
4. 調査項目 ①9月の業況と先行き見通し
②BCP（事業継続計画）の策定状況
5. 回答企業属性

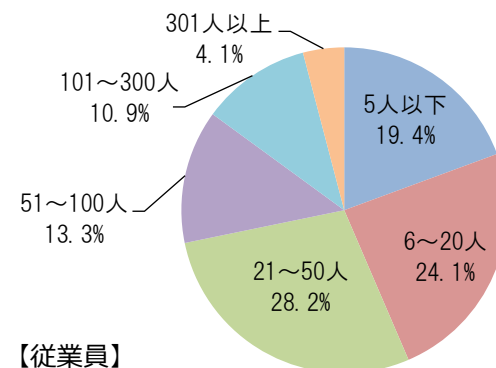
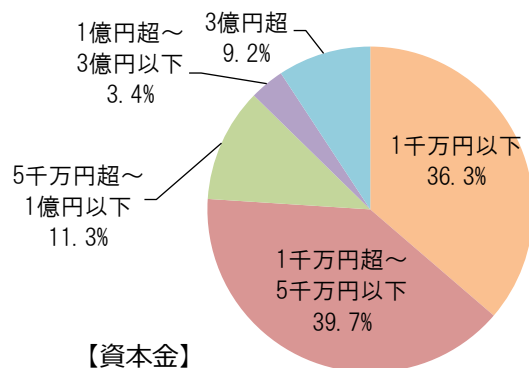
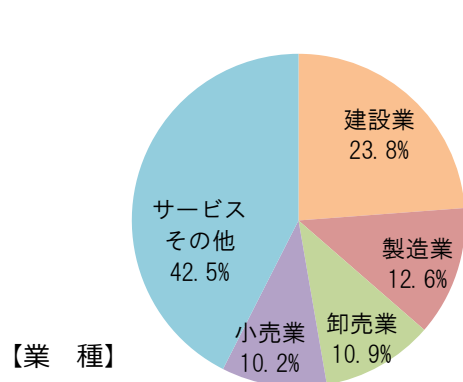
（参考）全国の調査結果についてはこちらをご参照ください



日本商工会議所
The Japan Chamber of Commerce and Industry

商工会議所LOBO調査 結果

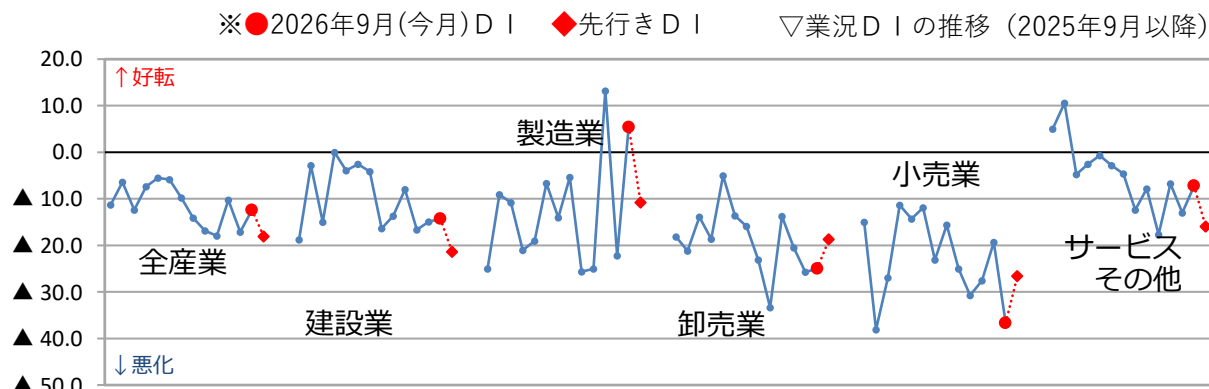
<https://cci-lobo.jcci.or.jp/>



①9月の業況と先行き見通し

全産業合計の業況DIは▲12.4と、前月から4.8ポイント好転。先行き見通しDIは▲18.1と悪化の見込み。

	2026年		
	8月	9月	10月～12月
全産業	▲ 17.2	▲ 12.4	▲ 18.1
建設	▲ 14.9	▲ 14.3	▲ 21.4
製造	▲ 22.2	5.4	▲ 10.8
卸売	▲ 25.7	▲ 25.0	▲ 18.8
小売	▲ 19.4	▲ 36.7	▲ 26.7
サービスその他	▲ 13.0	▲ 7.2	▲ 16.0



※DI値について…ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。

※先行き見通しDI＝当月(9月)と比べた、向こう3ヶ月(10月～12月)の先行き見通し

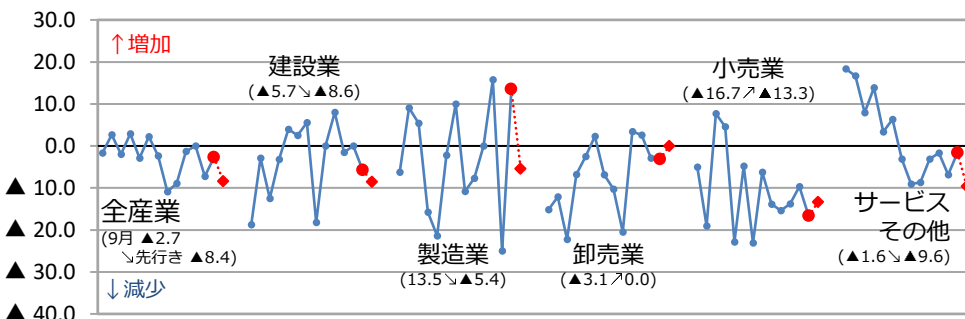
【例】

$$\text{業況DI} = \frac{(\text{好転} - \text{悪化}) \times 100}{(\text{好転} + \text{不変} + \text{悪化})}$$

1) 売上D I と先行き見通し

▽売上D I の推移 (2025年9月以降)

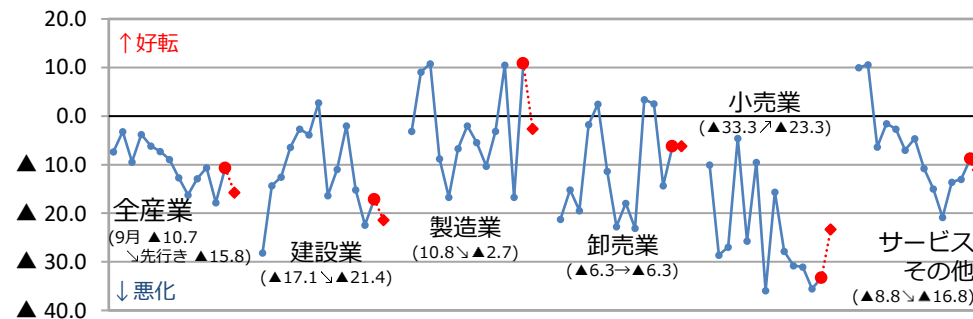
売上D I は▲2.7と前月から4.8ポイント好転。
 先行きD I は▲8.4と悪化の見込み。



2) 採算 (経常利益) D I と先行き見通し

▽採算D I の推移 (2025年9月以降)

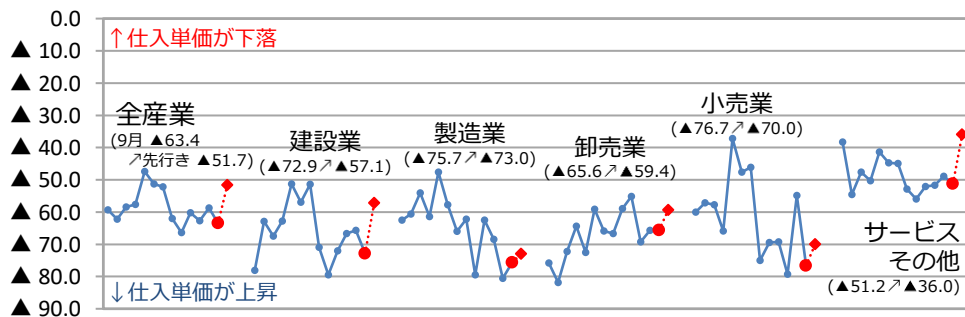
採算D I は▲10.7と前月から7.1ポイント好転。
 先行きD I は▲15.8と悪化の見込み。



3) 仕入単価D I と先行き見通し

▽仕入単価D I の推移 (2025年9月以降)

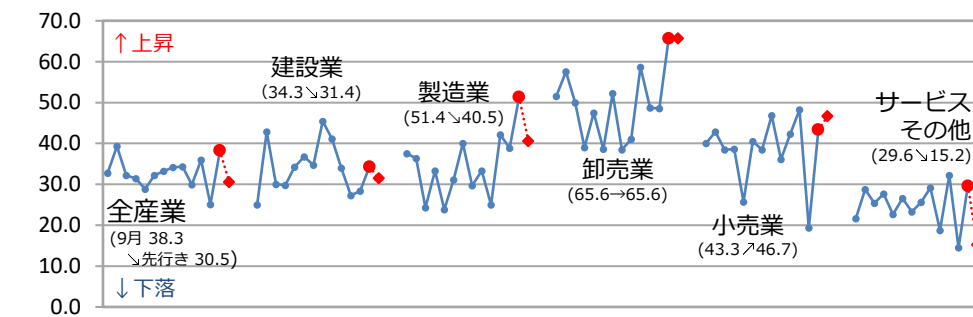
仕入単価D I は▲63.4と前月から4.7ポイント悪化。
 先行きD I は▲51.7と仕入価格の上昇を訴える傾向が弱まる見込み。



4) 販売単価D I と先行き見通し

▽販売単価D I の推移 (2025年9月以降)

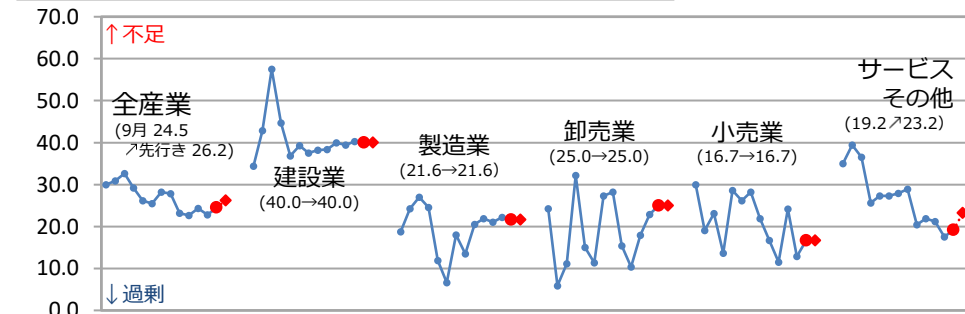
販売単価D I は38.3と前月から13.2ポイント改善。
 先行きD I は30.5と悪化の見込み。



5) 従業員D I と先行き見通し

▽従業員D I の推移 (2025年9月以降)

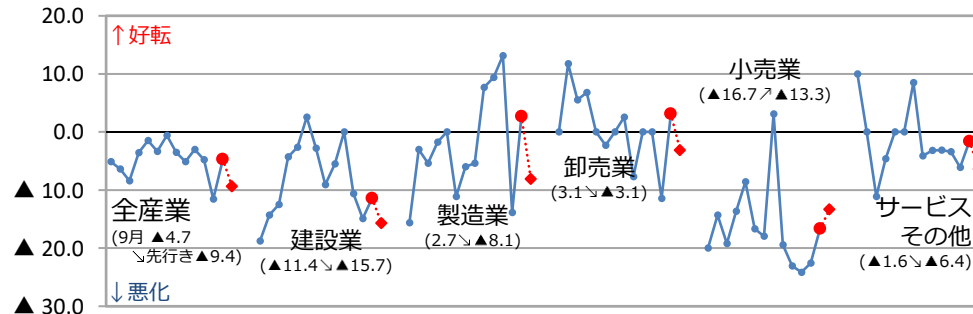
従業員D I は24.5と前月から1.7ポイント増加。
 先行きD I は26.2と人出不足感が強まる見込み。



6) 資金繰りD I と先行き見通し

▽資金繰りD I の推移 (2025年9月以降)

資金繰りD I は▲4.7と前月から6.9ポイント好転。
 先行きD I は▲9.4と悪化の見込み。



② B C P（事業継続計画）の策定状況

- BCP（事業継続計画）の策定状況は「すでに策定済み」が34.5%、「現在、策定中」10.2%とあわせて44.7%の企業がBCP策定に向けた取組を行っている。2024年2月調査からBCP策定に向けた取組を行っている割合は大幅に増加している。【図1】
- BCPを策定していない理由としては、「策定のための人的余裕がない」（36.8%）、「策定に必要なノウハウ・スキルがない」（32.9%）が上位となった。人材面と知識・スキル面の両方においてBCP策定のためのリソースが不足しており、必要性を感じていても実際の策定作業に踏み切れない状況がうかがえる。【図2】
- BCP策定や運用の見直しにあたり期待する支援策としては、「簡易な策定ガイドラインなどの提供」が44.3%と最も多くなった。次いで、「生成AIなどを活用して簡易に策定できるツールの提供」（32.2%）、「具体的な策定・運用事例集の提示」（29.9%）となった。BCP策定に割くリソースが不足している中、より簡便な手段でBCPを策定できる支援策が求められていることがうかがえる。【図3】

図1 【BCPの策定状況】

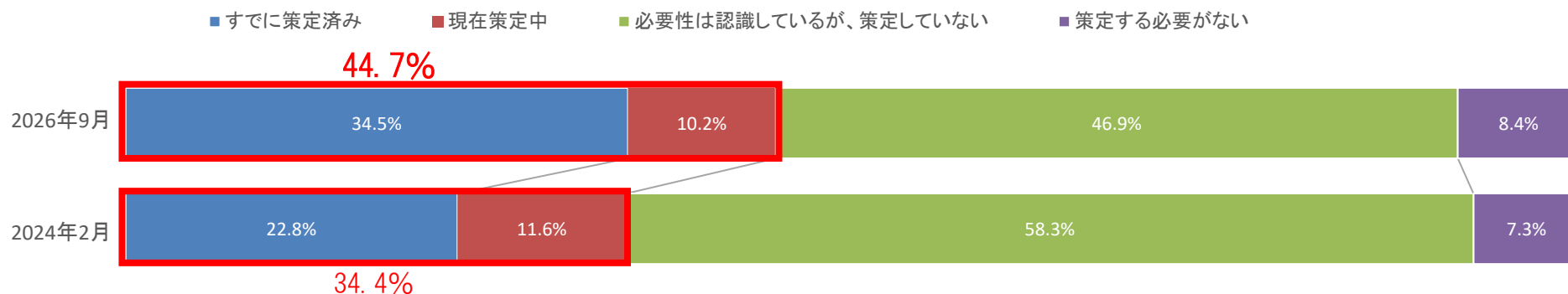


図2 【BCPを策定していない理由】（複数回答/上位5位）

※BCPを「必要性は認識しているが、策定していない」「策定する必要がある」と回答した企業が対象

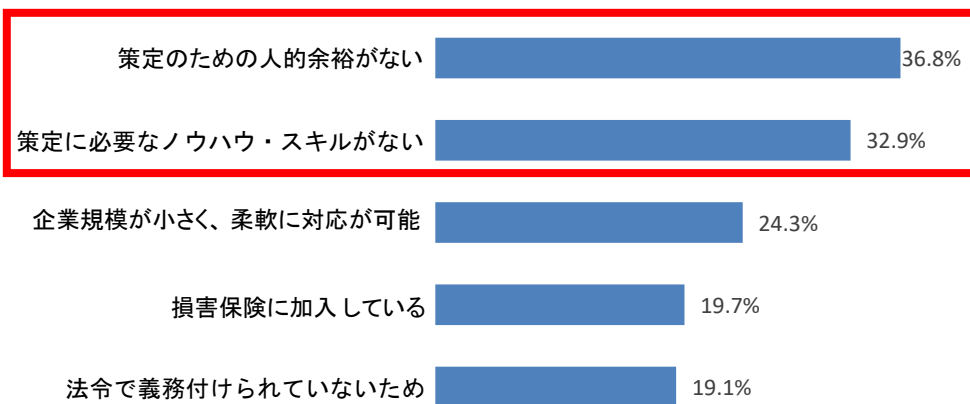
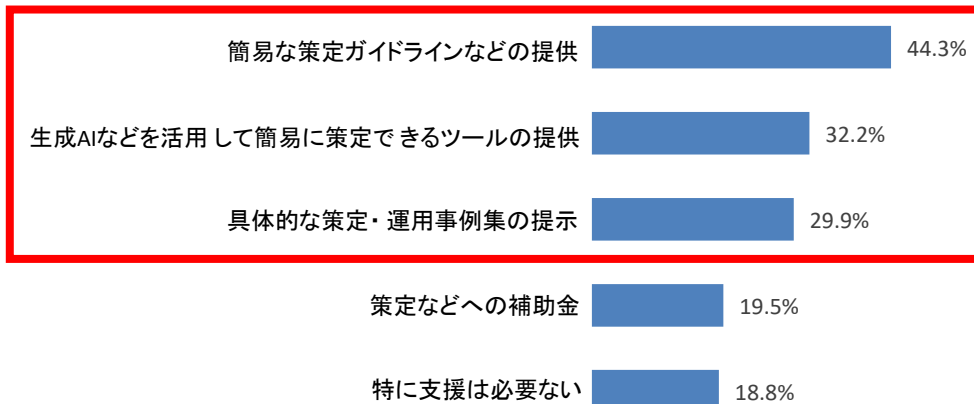


図3 【BCP策定や運用の見直しにあたり期待する支援策】

（複数回答/上位5位）



② B C P（事業継続計画）の策定状況

- 策定（策定中）したBCPで想定しているリスクは地震が83.7%と最多となった。次いで、風水害（55.3%）、火災（51.2%）、感染症（41.5%）となった。近年激甚化・多発化する自然災害やコロナ禍を経て、大規模な自然災害や感染症の発生を前提としたBCPを策定する企業が多くなっていることがうかがえる。【図4】
- BCPを策定済みの企業では、「定期的に周知や訓練を実施」が53.7%、「他地域での災害発生時など不定期で周知や訓練を実施」が20.0%とあわせて73.7%の企業がBCPの実効性を確保するための取組を行っている。BCPを策定している企業では、その実効性を確保するための取組が高い割合で行われていることがうかがえる。一方、BCPを策定しても「周知・訓練はできていない」企業も2割強あり、策定したBCPの実効性を確保することが必要である。【図5】

図4 【策定（策定中）したBCPで想定しているリスク】（複数回答）

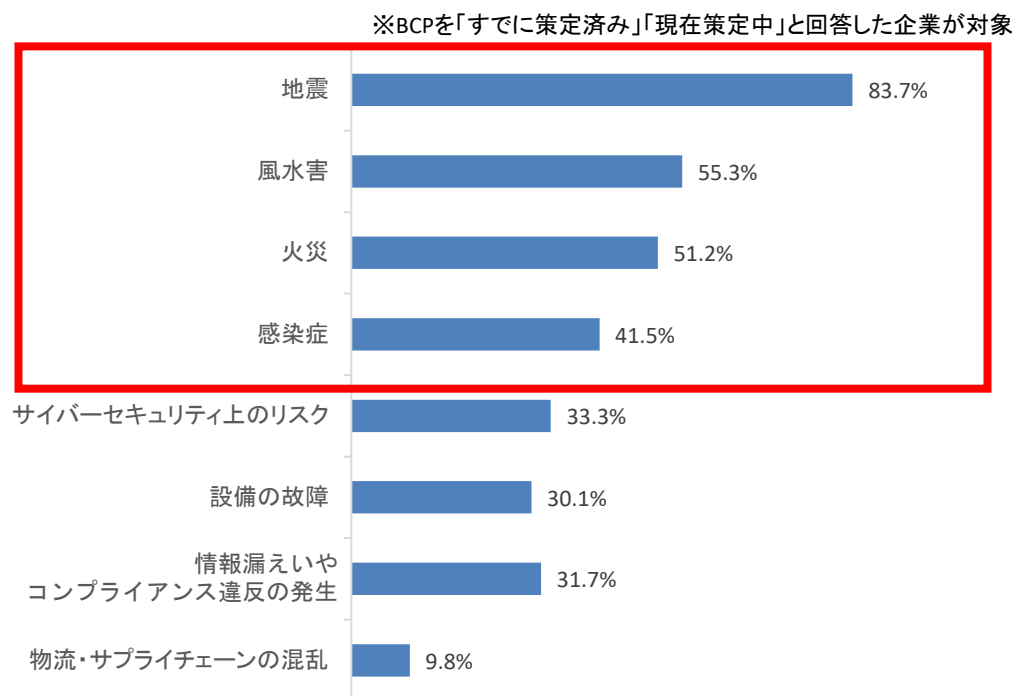
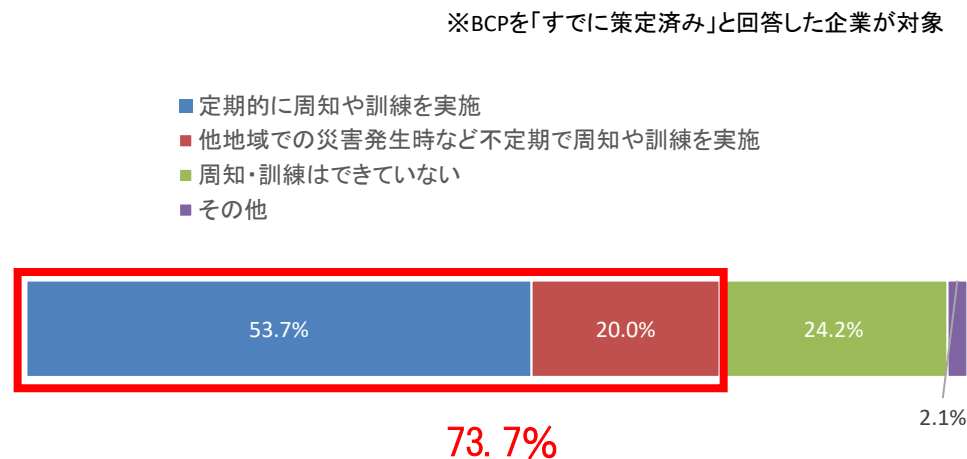


図5 【BCPの実効性確保のための取組】



（参考）会員の声

- BCPを策定したは良いものの、属人化しており、全員に共有する時間やそのスキルがなく苦慮している。 …【スポーツ用品販売業】
- BCPについては、事業者ごとに適切な内容が異なるため、生成AIの利用については賛同しがたい。 …【その他の専門サービス業】
- 生産性向上を目的とした営業面のDX化のため、障がい者雇用でIT系に対応できる人材を募集したいが苦戦している。 …【不動産仲介業】
- 業界的に資材の仕入れ単価などは据え置かれているが、光熱費および広告や通信コスト増による採算の見直しが必要。 …【医療】
- 生産設備や水資源で同業者間の連携を模索したが、市内では競合関係が強く、連携の習慣や関係構築の素地がない。 …【食料品製造業】